

平成30年度 前期教育活動に関するアンケート結果

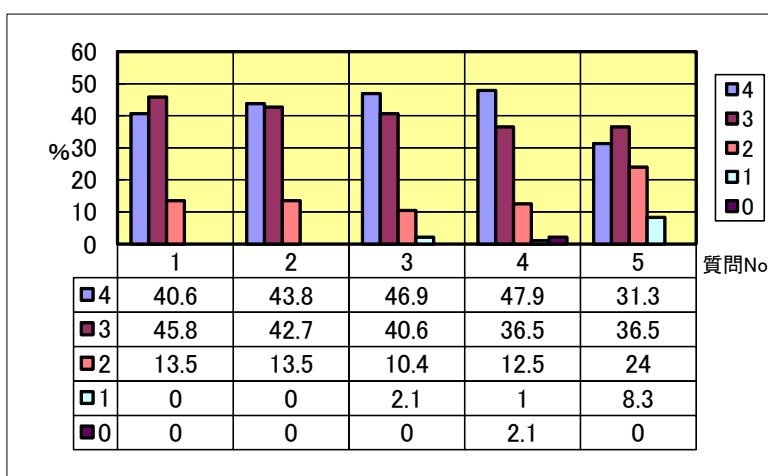
秋田県立秋田きらり支援学校

1 「学校運営」について

- No.1 学校経営の重点や学部・学級の経営方針等を保護者に伝えているか。
- 2 きらり支援学校の特色づくりや魅力ある学校づくりを行っているか。
- 3 職員同士は、連携、協力して仕事をしているか。
- 4 職員の礼儀、態度や服装、保護者への対応は適切か。
- 5 自立活動室や水治学習室等の学校の施設設備をうまく活用しているか。

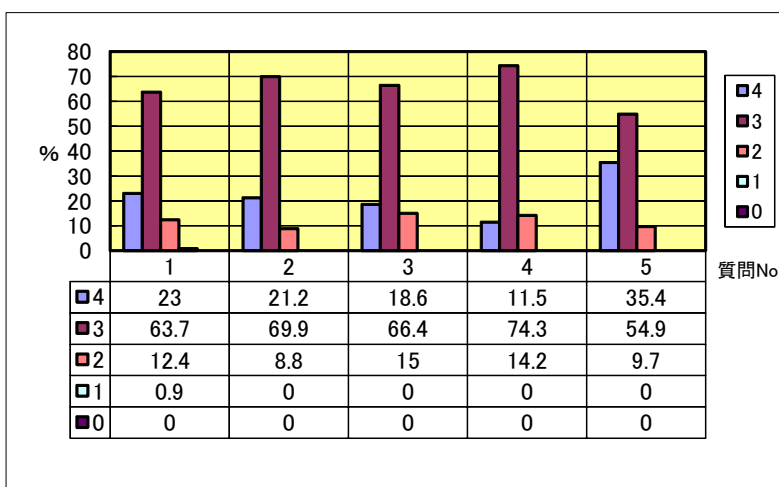
(1) 評価結果表

〈保護者〉



平均：1 = 3.3 2 = 3.3 3 = 3.3 4 = 3.3 5 = 2.9
 (H29) (3.3) (3.3) (3.2) (3.5) (3.1)

〈職員〉



平均：1 = 3.1 2 = 3.1 3 = 3.0 4 = 3.0 5 = 3.3
 (H29) (3.2) (3.2) (3.1) (2.9) (3.3)

(2) 評価結果について

保護者の皆さんからは、おおむね肯定的な評価をいただきました。

全ての項目で、評価4（できている）評価3（ほぼできている）を合わせると、80%以上となっています。昨年度と比較するとNo.3「職員同士は連携、協力して仕事をしているか」の評価1（あまりできていない）がなくなりました。

No.5「自立活動室や水治学習室等の学校の施設設備をうまく活用しているか」については、現在も施設設備を活用し学習を行っています。ただ、水治学習室は室内だけでなく更衣室や教室等の気温も考慮し、概ね7月上旬から9月中旬に限られてしまうことも御理解ください。

(3) 各項目に関する取組について

No.1「学校経営の重点や学部・学級の経営方針等を保護者に伝えているか」について

学校の教育目標や今年度の重点事項等については、PTA総会で説明しており、教育目標や重点事項を受けて、各学部ごとに学部の経営方針についてもお伝えしています。今後も、学部、学級懇談などで、より分かりやすく説明していきますので、御不明な点は、いつでも担任や学部主事にお尋ねください。

No.2「きらり支援学校の特色づくりや魅力ある学校づくりを行っているか」について

県内唯一の肢体不自由及び病弱教育の特別支援学校として、3校・医療療育センターとの連携の利点を生かし、特色ある学校づくりに努めています。また、在籍する児童生徒の多様な教育的ニーズに応じながら、将来の社会参加と自立に必要な力を育てる教育活動を行っています。

No.3「職員同士は、連携、協力して仕事をしているか」について

職員同士の連携や協力体制については、担任間で日頃から十分な話し合いを行い、教育活動に反映させています。今後も職員間の連絡・調整をしっかりと取り合い、協力していくよう職員会議で徹底しました。

No.4「職員の礼儀、態度や服装、保護者への対応は適切か」

児童生徒の模範となるよう、社会のマナーや服装、態度などに気を配るとともに、保護者の皆さんへの丁寧な対応に努めています。「教職員」に挨拶をしない職員がいるということのないよう、3校で周知、徹底していきます。

No.5「自立活動室や水治学習室等の学校の施設設備をうまく活用しているか」

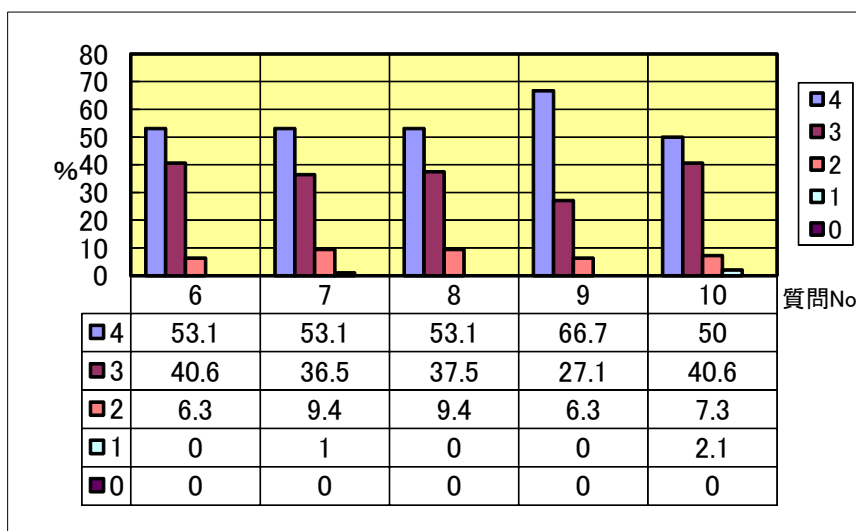
校舎内は全てがバリアフリーとなっており、教室環境も冷暖房完備と恵まれた施設設備となっておりますが、さらに児童生徒にとってよりよい環境となるよう、工夫しながら有効活用していきます。今後も、施設設備の活用方法についての要望等がありましたら、御遠慮なくお知らせください。

2 「学習指導」について

- No.6 児童生徒の特性や発達段階をよく理解しているか。
 7 教育課程や学習内容、指導方法は児童生徒のニーズに合っているか。
 8 教材研究に熱心に取り組み、よい授業をするよう努めているか。
 9 児童生徒は学校生活を楽しみ、満足していると思うか。
 10 児童生徒の教育に関し、保護者との意見交換や共通理解ができているか。

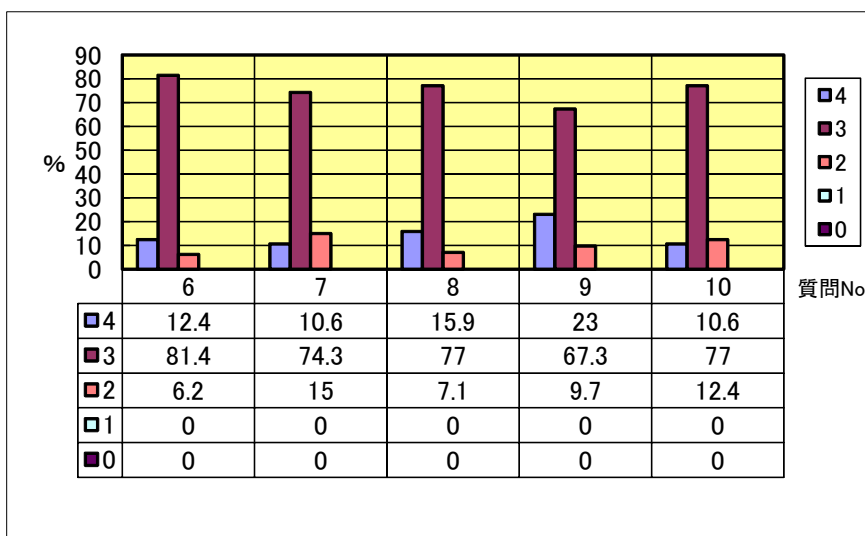
(1) 評価結果表

〈保護者〉



平均：6 = 3.5 7 = 3.4 8 = 3.4 9 = 3.6 10 = 3.4
 (3.3) (3.3) (3.3) (3.5) (3.3)

〈職員〉



平均：6 = 3.1 7 = 3.0 8 = 3.1 9 = 3.1 10 = 3.0
 (3.2) (3.1) (3.1) (3.2) (3.1)

(2) 評価結果について

ここでも保護者の皆さんからは、おおむね肯定的な評価をいただきました。

全ての項目の平均が昨年度を上回りました。

特に、No.9「児童生徒は学校生活を楽しみ、満足していると思うか」については、保護者の評価が高く、多くの児童生徒が毎日の学校生活を楽しみ、充実感をもって過ごしていることが分かります。昨年度から、保護者と担任との面談を年3回に増やした成果が出てきていると推定します。面談の機会に限らず、連絡帳や心配事があつたら遠慮なく相談にいらしてください。

(3) 各項目に関する取組について

No.6「児童生徒の特性や発達段階をよく理解しているか」について

本校では、児童生徒の特性や発達段階を客観的にとらえ、指導に当たっています。的確な実態把握をするためには、保護者の皆さんからの情報は貴重ですので、今後も御協力をお願いします。

No.7「教育課程や学習内容、指導方法は児童生徒のニーズに合っているか」について

児童生徒の教育的ニーズについては、「個別の支援計画」の作成時に聞き取りをしています。保護者の皆さんとの共通理解のもと、多様なニーズに対応できるよう努めています。

No.8「教材研究に熱心に取り組み、よい授業をするよう努めているか」について

No.9「児童生徒は学校生活を楽しみ、満足していると思うか」について

中学部、高等部の生徒にアンケートを実施したところ、今回も約80%の生徒が「学校が楽しい」と回答しました。全ての児童生徒が、学校を楽しんでいることができるよう、児童生徒の声やサイン、教育的ニーズを受け止め、努力していきます。

また、授業研究会を通しての授業改善や外部専門家（PT、OT、ST）と連携しての授業づくりなど、研修の充実に努め、よりよい授業づくりを行っていきます。ぜひ、機会がありましたら学校にいらしていただき授業をご覧ください。

No.10「児童生徒の教育に関し、保護者との意見交換や共通理解ができているか」について

児童生徒の教育活動においては、保護者の皆さんとの共通理解が大切です。

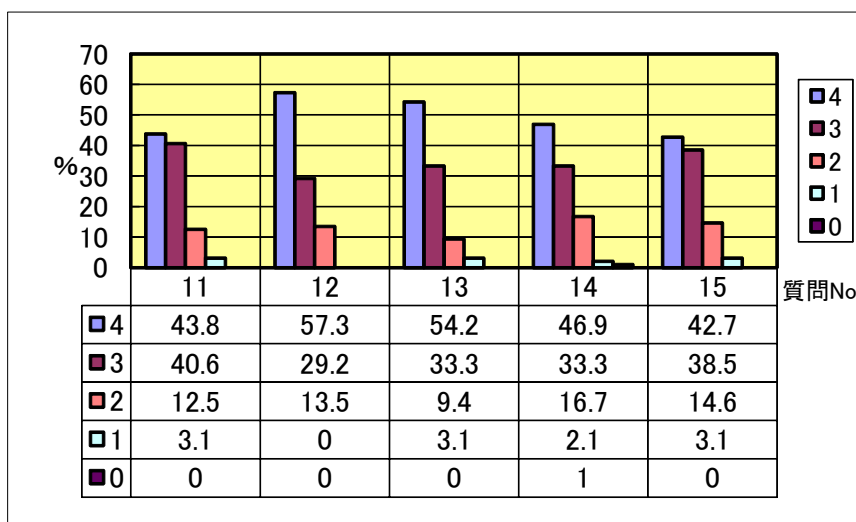
P T Aや個別面談、毎日の連絡帳等を通して、意見交換ができるように努めています。昨年度から面談の回数を増やし、前期評価と後期目標の設定について共通理解を図る機会としています。面談を通して、保護者と担任が十分な意見交換をし、教育活動に生かすことが大切なので御協力をお願いします。

3 「生徒指導・進路指導」について

- No.11 児童生徒の悩みや希望などを理解して、指導にあたっているか。
- 12 児童生徒のよさを生かし、よさを伸ばす指導を行っているか。
- 13 児童生徒に応じた生き方指導・進路指導を行っているか。
- 14 児童生徒の将来の社会参加や自立に必要な力を育てているか。
- 15 保護者に分かりやすく進路情報を提供しているか。

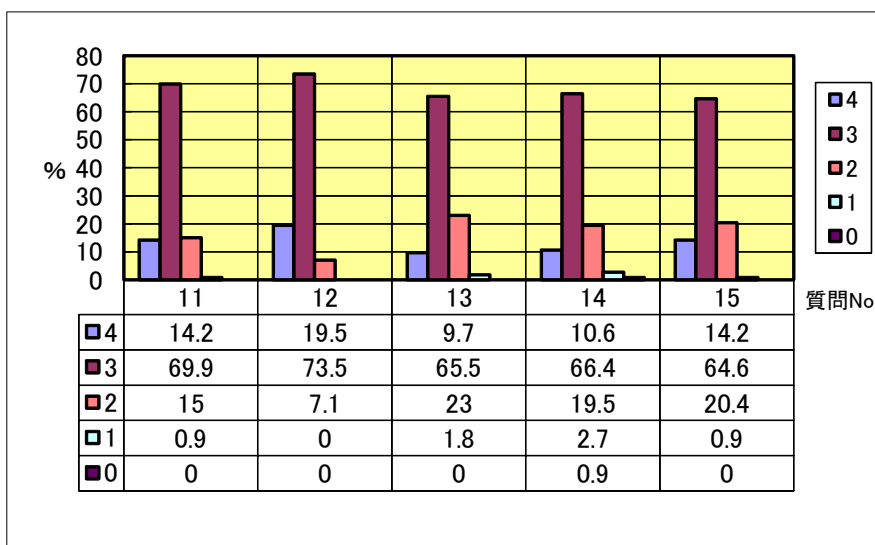
(1) 評価結果表

〈保護者〉



平均：11=3.3 12=3.4 13=3.4 14=3.4 15=3.2
 (3.3) (3.4) (3.3) (3.1) (3.2)

〈職員〉



平均：11=3.0 12=3.1 13=2.8 14=2.8 15=2.9
 (3.1) (3.2) (2.8) (3.0) (2.8)

(2) 評価結果について

保護者の皆さんから、おおむね肯定的な評価をいただきました。

全ての項目で、評価4（できている）評価3（ほぼできている）を合わせると、80%以上となっています。

特に、No.12「児童生徒のよさを生かし、よさを伸ばす指導を行っているか」No.13「児童生徒に応じた生き方指導・進路指導を行っているか」については、85%の保護者の皆さんが高い評価をしてくださっています。ただし全体を通じて、評価2（どちらとも言えない）、評価1（あまりできていない）と回答した保護者の方もいることから、個別で丁寧な相談を心掛けていきます。今後も進路指導の充実と個別のニーズに応じた情報提供を行っていきますので御理解と御協力をお願いします。

(3) 各項目に関する取組について

No.11「児童生徒の悩みや希望などを理解して、指導にあたっているか」について

職員は、普段から児童生徒の声や普段と違う表情や態度等を敏感に感じ取り、迅速で適切な対応を心掛けています。じっくり児童生徒と向き合って話を聴くなど、今後も丁寧な対応に努めていきます。

No.12「児童生徒のよさを生かし、よさを伸ばす指導を行っているか。」について

職員は、児童生徒のよさを伸ばす指導を常に心掛けています。よいところや得意なことに着目し伸ばすことで、自信をもって毎日の生活を送ることができるよう、指導に当たっています。

No.13「児童生徒に応じた生き方指導・進路指導を行っているか」について

No.14「児童生徒の将来の社会参加や自立に必要な力を育てているか」について

進路指導を「生き方指導」として、小学部段階から指導に取り組んでいます。特別支援学校は小学部から高等部まで一貫した指導のできる環境にあります。その特長をさらに生かし、各学部で、将来の社会参加と自立に必要な力を育て、年齢に応じた進路学習や自立に向けた学習を進めていきます。

No.15「保護者に分かりやすく進路情報を提供しているか」について

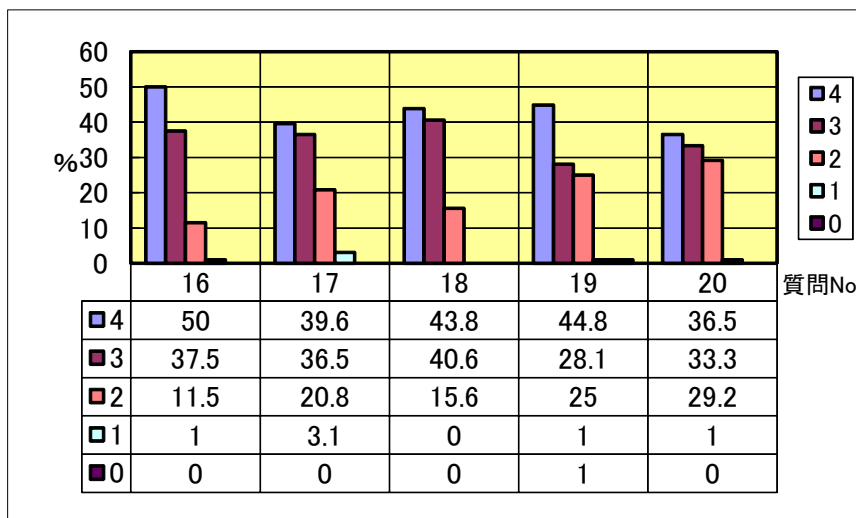
進路だよりを計画的に発行するなどして情報提供を行っています。保護者の皆さんのニーズは多種多様です。今年度は、進路だよりの内容を見直し、ニーズにそった紙面をお届けしています。進路に関する情報や児童生徒を取り巻く状況はどんどん変わっていきます。さらに職員自身の研修や情報収集に努め、進路面談や個別面談で、個々にしっかりと対応していきます。

4 「行事等」について

- No.16 運動会、修学旅行や宿泊学習等の行事は充実しているか。
 17 校外学習や事業所見学等は充実していると思うか。
 18 行事や校外学習の回数や内容、経費は適切だと思うか。
 19 居住地校交流、交流及び共同学習、地域での活動等は充実しているか。
 20 お話会や琴の演奏会、畑の先生等地域の人材を活用して、効果的な学習が行われているか。

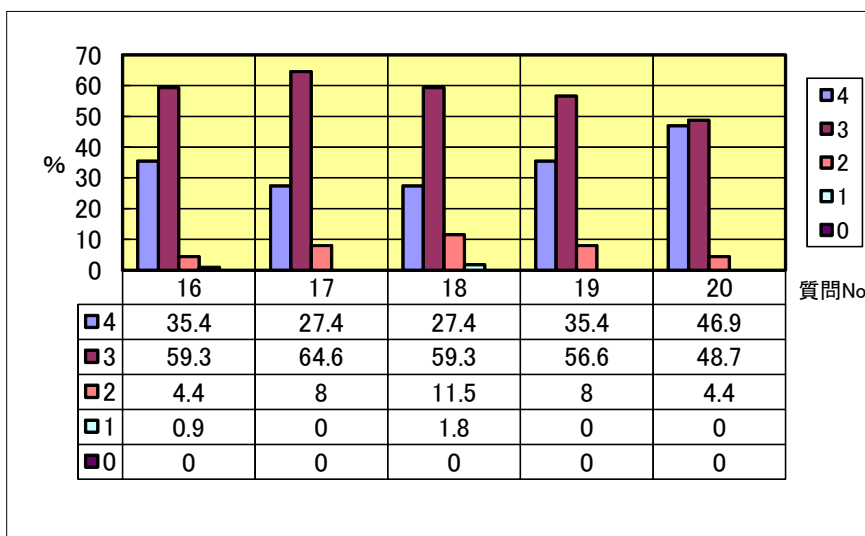
(1) 評価結果表

〈保護者〉



平均 : 16=3.4 17=3.1 18=3.3 19=3.2 20=3.1
 (3.4) (3.3) (3.3) (3.2) (3.1)

〈職員〉



平均 : 16=3.3 17=3.2 18=3.1 19=3.3 20=3.4
 (3.4) (3.2) (3.1) (3.1) (3.3)

(2) 評価結果について

ここでも保護者の皆さんから、おおむね肯定的な評価をいただきました。

No.16「**運動会、修学旅行や宿泊学習の行事は充実しているか**」No.19「**居住地校交流、交流及び共同学習、地域での活動等は充実しているか**」は、保護者、職員共に高い評価でした。「学校行事」や「交流及び共同学習」等が児童生徒の活躍や成長の場となっています。

しかし、全体を通じて評価2（どちらとも言えない）、評価1（あまりできていない）と回答された保護者もおりました。自由記述等から推測するに、児童生徒の体調に配慮した計画・実施、実施内容のばらつきに対する不満・不安などがあるようです。行事や交流等のねらいをしっかりと保護者に伝え、共通理解を図りながら実施するよう運営委員会や職員会議等で確認しました。今後も交流先を開拓し、内容の充実を図ると共に、保護者の皆様と十分に話し合っていきますので、遠慮なく要望等の声をお聞かせください。

(3) 各項目に関する取組について

No.16「**運動会や修学旅行や宿泊学習等の行事は充実しているか**」について

児童生徒は、行事での活躍が自信となり、次の学習活動を頑張ろうとする気持ちにつながっています。児童生徒の主体性を育てるよう、児童生徒による実行委員会等を継続し、可能な限り児童生徒たちの手による企画や運営で行っています。

No.17「**校外学習や事業所見学等は充実していると思うか**」について

No.18「**行事や校外学習の数や内容、経費は適切だと思うか**」について

校外学習や事業所見学の実施に当たっては、日々の生活や学習にもつながるよう、事前学習や事後学習（お礼状の作成等）にも力を入れています。ねらいを明確に、さらに児童生徒の負担にならないよう計画・実施していきます。

No.19「**居住地校交流、交流及び共同学習、地域での活動等は充実しているか**」について

小学部では、本人・保護者の希望により、10名（昨年度は7名）の児童が居住地校交流を行っています。継続している児童は徐々に交流が深まり、朝の活動や教科の学習を楽しく行えるようになっていきます。

学校間交流では、パラスポーツの「ボッチャ」競技を取り入れるなど、昨年度以上に交流の中身も深まり充実してきています。3校の合同授業も増えてきています。互いに有効であることを確認しつつ、今後も充実させていきます。

No.20「**お話会や琴の演奏会、畑の先生等地域の人材を活用して、効果的な学習が行われているか**」について

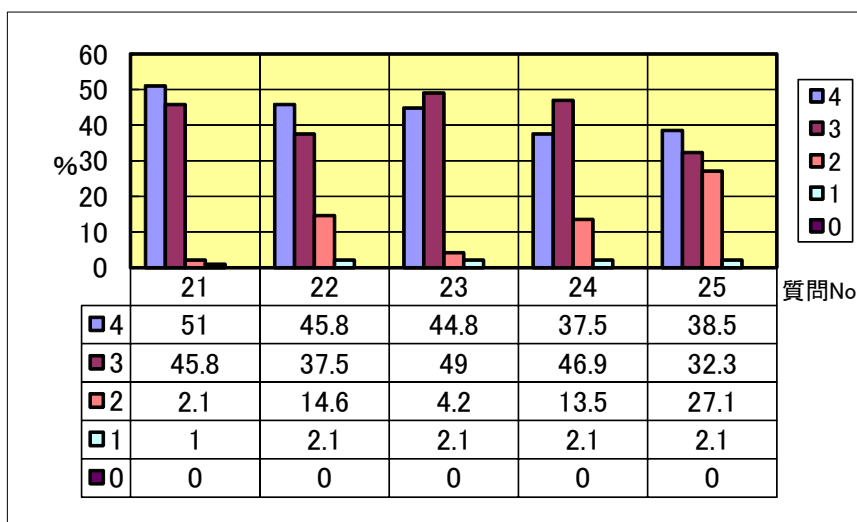
ボランティア人材バンク等を活用し、地域の様々な方々に来校いただき、交流活動を行っています。これまでも読み聞かせやお話会、ドルチェさんのコンサートや民謡演奏会など、多くの皆さんから御協力いただいています。今後も地域の力を生かし、さらにプロの技術に学びながら、授業の質を高め、効果的な学習を行っていきます。

5 「その他」について

- No.21 学校の安全管理（事故・災害防止対策、緊急対応、個人情報管理等）は十分か。
 22 医療・福祉・労働等の関係機関と連携し、児童生徒支援に努めているか。
 23 校舎・校地の環境や掲示物など学習環境が整備されているか。
 24 P T A活動等を通じて保護者と職員が連携、協力しているか。
 25 地域への情報発信や地域からの学校理解は十分か。

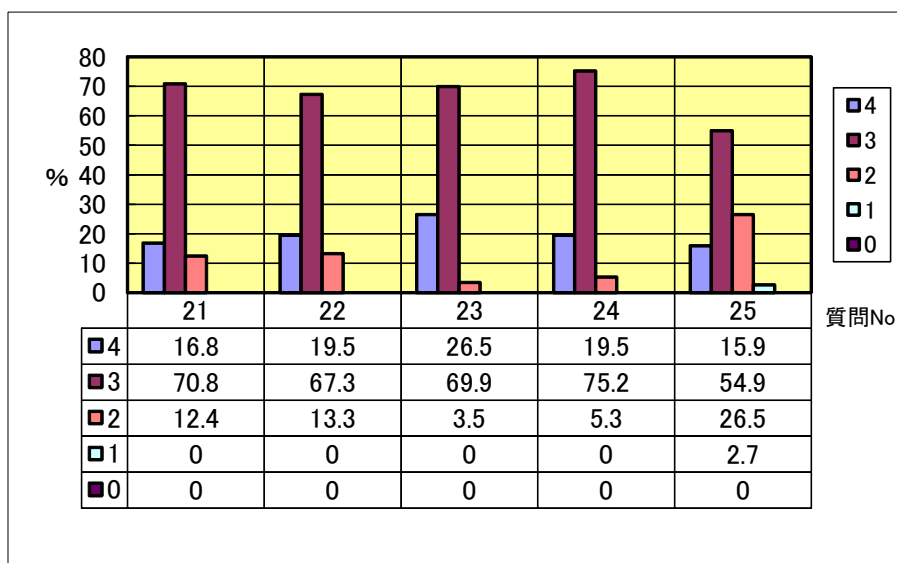
(1) 評価結果表

〈保護者〉



平均：21=3.5 22=3.3 23=3.4 24=3.2 25=3.1
 (3.3) (3.2) (3.3) (3.2) (3.0)

〈職員〉



平均：21=3.0 22=3.1 23=3.2 24=3.1 25=2.8
 (3.1) (3.1) (3.2) (3.1) (2.8)

(2) 評価結果について

ここでも保護者の皆さんから、おおむね肯定的な評価をいただきました。

No.21「学校の安全管理(事故・災害防止対策、緊急対応、個人情報管理等)は十分か」

No.23「校舎・校地の環境や掲示物など学習環境が整備されているか」については、評価4(できている)評価3(ほぼできている)を合わせると、90%以上でした。

学校でもさまざまな取組を行っていることを保護者の皆さんや地域に少しずつ理解され連携の輪が広がってきていると思われます。新聞やテレビ等で学校や児童生徒の頑張りが紹介されることも増えてきています。

(3) 各項目に関する取組について

No.21「学校の安全管理(事故・災害防止対策、緊急対応、個人情報管理等)は十分か」について

緊急時対応訓練や避難訓練など、あらゆる事態を想定した訓練を3校合同、医療療育センター合同、あるいは本校単独で計画的に実施しています。今後も、児童生徒が安全に学校生活を送ることができるように環境の整備に努めていきます。

個人情報の保護に関しても、流出等がないよう適切に管理していきます。

No.22「医療・福祉・労働等の関係機関と連携し、児童生徒支援に努めているか」について

医療療育センターとの連携については、月曜会などを通して連絡調整を図るとともに、センター長を講師に招いて、職員研修会なども行っています。またリハビリ参観や外部専門家(P T、O T、S T)からの助言を学校での指導に生かしています。

緊急時にはセンターと連絡を取り合い、救急搬送する体制も整っています。

No.23「校舎・校地の環境や掲示物など学習環境が整備されているか」について

各教室には学級目標や児童生徒一人一人の目標が掲示され、学習しやすい環境が整えられているとともに、児童生徒たちによる清掃活動も行われています。また、廊下等は技師による清掃、美化に努めています。

No.24「P T A活動等を通じて保護者と職員が連携、協力しているか」について

P T A活動への保護者の皆さんの御協力に感謝しています。保護者の皆さんからの要望や御意見を参考にしながら、さらに活性化を図っていきます。また、保護者の皆さんにとってさらに充実した活動となるよう、保護者の方々が中心となって企画していただく機会を作っていきます。ミニ学校展・行事写真等の掲示、学校報編集会議等への協力、ありがとうございます。

No.25「地域への情報発信や地域からの学校理解は十分か」について

学校間交流の他に、音楽会等学校行事へのボランティアの受け入れ、かがやきの丘祭りなど地域交流に取り組んでいます。今年度もミニ学校展を秋田赤十字病院や遊学舎の他、秋田銀行や北都銀行の支店にも広げ開催しています。また、ホームページを定期的に更新し、タイムリーに学校の取組をお知らせしています。今後も情報発信の方法を工夫しながら、取組を進めていきます。